

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の行事や集まりにはこれまでも参加してきたが、まだまだ限られた交流になっていると感じている。	地域の行事や集まりへのさらなる参加 ホームでできる地域の方や外部の方との交流の機会を増やす。	地域との関係性をより強くするため、小学校や幼稚園等の行事や地域サロン等の集いにも積極的に参加できるようにしていく。市の広報や地域包括支援センター等から情報収集して、出来る限り外に開けたホームでいられるよう、よりいっそう取り組む。	1 2ヶ月
2	35	今後起こり得る大災害に備えた備蓄品や必要物品について、3日分では足りないかもしれないと運営推進会議にて意見がでたことがある。	災害発生しても、ホームでの生活が最低限継続出来るよう、備蓄品と必要物品の見直しをする。	5日から1週間分程度の備蓄が可能かどうか検討し、必要物品を再点検する。過去の災害の文献からも情報収集し、優先順位を再確認する。地域や消防、市等とも日頃から連携をとって、災害時にスムーズに情報交換できるようにしていく。	1 2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。